

有田焼、唐津焼などの陶芸、情緒もしっとり出湯のまち、その筆頭は肥前風土記（712 年）に登場する、古き良き風情が残る温泉郷「嬉野温泉」、大正 3 年に建設された朱塗りの楼門がシンボルの「武雄温泉」。そして潮騒のロマン奏でる玄界灘に面した呼子朝市、透き通るイカの生き造り。玄武岩が玄界灘の荒波で削られ作り出された自然の芸術七ツ釜。5 キロにわたる虹ノ松原等等。がばい！



がばい！は「佐賀のがばいばあちゃん」でご存知のように、「すごい」とか「大変」と言う意味です。この学会のメインテーマは“がばい かわらんば！”サブテーマは — 技師の意識 たゆまぬ挑戦 —。今までの意識を変え、何事にも前向き「すごく 変わらなきゃ」ということなのです。

学会内容について、ここ近年遺伝子検査については凄じい速さで進んでいます。遺伝子診断にどのような有用性があるのか、どのような可能性があるのか、どのような問題点があるのか「遺伝子検査の現況と展望」についての教育講演、今どきの子どもの生活習慣と生活習慣病の実態などをとおしての「小児の生活習慣病を取り巻く諸問題」の特別講演、女性フォーラムでは「男女参画社会について」の基調講演とパネルディスカッション、関西落語会の笑福亭松枝師匠による笑い涙怒りありの「ストップ・ザ・医療破壊」の文化講演、と盛りだくさんの内容でした。一般演題も 100 題、勉学の秋を満喫した佐賀学会でありました。

皆様次期学会は鹿児島で行われます。是非のお越しをお待ちしています。 【上田 誠】

次号の学会報告予定

- ❖ 第 83 回 北海道医学検査学会
10 月 20 日(土)～21 日(日)開催
- ❖ 第 40 回 中国・四国医学検査学会
10 月 27 日(土)～28 日(日)開催
- ❖ 第 44 回 関東甲信地区医学検査学会
11 月 10 日(土)～11 日(日)開催
- ❖ 第 47 回 近畿医学検査学会
11 月 24 日(土)～25 日(日)開催



地区短信

近畿地区

「灘のけんか祭りー播州の秋祭りー」

兵庫県南西部の播磨地方の 10 月は祭り一色である。多くの神社で屋台の練り出しが行われる。

地域から練り出される屋台は、神輿と形態が似通っているものもあるが神の輿としての役割はなく、渡御のお供・神前での奉納などを役割とし、風流として祭礼を盛り上げる。

屋台は同じ地域でありながら様々なものがあり、屋根の形態から布団屋根型と神輿屋根型に大別される。

布団屋台は東播方面・北播方面に多く、神輿屋台は中播方面・西播方面に多い。地域によって異なった屋台練り（神輿ぶり）があり、秋祭りの見所となっている。

一般的な差し上げの他に、土台部分のみでの台場練りや台場差し、放り上げるチョーサー（重祭・招財）、複数台での練り合せ・練り違いなどがある。掛け声は神輿を担ぐ際によく言われる「ワッショイ」ではなく、「ヨーイヤサー」が一般的である。

宮出し（宮戻し）・練り合わせ

姫路市白浜町の松原八幡神社で行われる秋季例大祭は灘のけんか祭りと呼ばれ、特に有名である。10 月 14 日の宵宮では、旧 7ヶ村の絢爛豪華な屋台同士が練り競う「練り合わせ」が行われる。15 日の本宮では、全ての村の宮入り後、神様の移った 3 基の神輿が練り番の村によって拝殿から練り出され、神社境内で神輿をぶつけ合う。御旅山山麓でも神輿をぶつけ合う。屋台の練り合わせが繰り広げられる。夕暮れが近づくと、それぞれ山から練りながら降りて行き、再び麓の練り場で練り合わせてから、各村へと帰って行く。



【中山亮一】

◇ 次の語源からできた言葉を答えてください。

- (1) イカ墨で作られた絵の具
- (2) 「みよちゃん、はなちゃん」という名前
- (3) ココロフト(心太草)
- (4) 大根を食べると食あたりしない。
- (5) 平安時代、旅の出発時に安全を祈って馬を目的地に向ける習慣。
- (6) 麻糸を巻いた糸玉から糸を少しずつ引き出したり、巻きつけたりすること。

Oh! 脳